



Since 1946
Brightening the Future

2022年度(2023年3月期) 第3四半期決算概要について

新光電気工業株式会社



目次

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

決算概況	2
プラスチックパッケージ	6
メタルパッケージ	8
部門別売上高	10

2022年度 通期の見通し（連結）

売上高・損益・配当	11
設備投資額・減価償却費・研究開発費	13

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

決算概況

（単位：億円）

	2021年度 3 Q累計	2022年度 3 Q累計	前年同期比	
				増減率
売上高	2,008	2,325	+317	16%
営業利益 (営業利益率)	525 (26%)	712 (31%)	+187	36%
経常利益 (経常利益率)	548 (27%)	729 (31%)	+181	33%
純利益※ (純利益率※)	379 (19%)	505 (22%)	+126	33%

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	280.24円	373.85円
-------------	---------	---------

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

概況

- 半導体業界は、自動車、産業機器向けなどの需要が堅調に推移した一方で、ロシア・ウクライナ紛争の長期化ならびに世界的なインフレ進行、中国経済の減速等による影響や、パソコン、スマートフォン向け需要の減少などにより、期後半にかけて、半導体市況の減速傾向が鮮明となった。
- 当社グループにおいては、フリップチップタイプパッケージは、第2四半期以降、パソコン向けの需要減少等の影響を受けたものの、為替相場が第3四半期はじめまで円安基調で推移したことなどにより増収。半導体製造装置向けセラミック静電チャック、ハイエンドスマートフォン向けIC組立は、需要が増加したことに加え、大幅な円安も寄与し、売上が増加。
- **前年同期比で売上高16%増、各利益とも増益。**

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

セグメント別売上高・経常利益

（単位：億円）

セグメント		2021年度 3Q累計		2022年度 3Q累計		前年同期比 増減率 (%)	2021年度	
			構成比(%)		構成比(%)			構成比(%)
売上高 ※1	プラスチックパッケージ	1,268	(63)	1,446	(62)	14	1,694	(62)
	メタルパッケージ	673	(34)	799	(34)	19	929	(34)
	その他	67	(3)	80	(4)	19	96	(4)
	合計	2,008	(100)	2,325	(100)	16	2,719	(100)
経常利益 ※2	プラスチックパッケージ	385	(30)	457	(32)	19	509	(30)
	メタルパッケージ	158	(23)	271	(34)	72	235	(25)
	その他/調整額	6		1			14	
	合計	548	(27)	729	(31)	33	758	(28)

※1 外部顧客への売上高

※2 セグメント間取引調整前の経常利益

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

財政状態、設備投資・減価償却費等

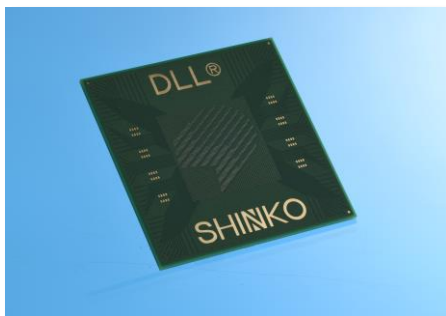
（単位：億円）

	2021年度3Q	2022年度3Q	2021年度
総資産	2,918	3,666	3,195
純資産	1,868	2,468	2,020
自己資本比率	64%	67%	63%

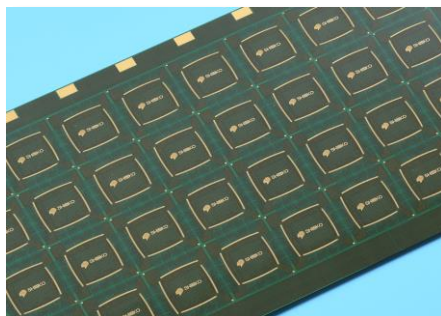
	2021年度3Q累計	2022年度3Q累計	2021年度
設備投資額※	459	202	575
減価償却費※	202	251	300
研究開発費	26	27	35
為替レート(1米ドル)	110円	135円	111円

※ 無形固定資産を除く

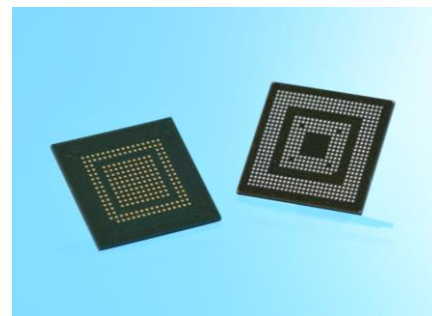
プラスチックパッケージ



フリップチップタイプ
パッケージ



プラスチックBGA基板



IC組立

【主な搭載製品例】

パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器 他

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

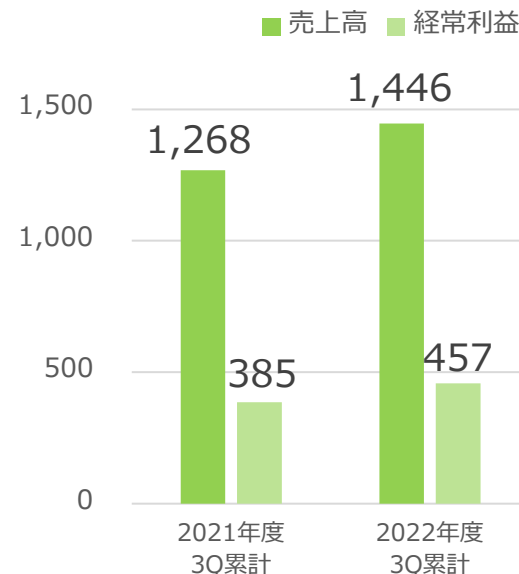
プラスチックパッケージ

（単位：億円）

	2021年度 3 Q 累計	2022年度 3 Q 累計	前年同期比	
			増減率	
売上高（構成比）	1,268（63%）	1,446（62%）	+178	14%
経常利益（利益率）	385（30%）	457（32%）	+72	19%

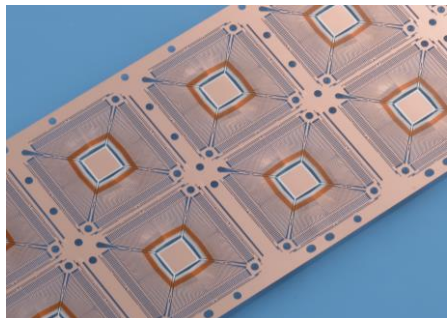
I C組立、プラスチックBGA基板の受注増加に加え、大幅な円安も寄与したことなどにより、前年同期比増収増益

- フリップチップタイプパッケージは、第2四半期以降、パソコン需要減少等の影響を受けたものの、為替相場が第3四半期はじめまで円安基調で推移したことなどにより増収
- I C組立はハイエンドスマートフォン向けに受注が増加し、プラスチックBGA基板は先端メモリー向けや自動車向けが好調に推移したことに加え、大幅な円安も寄与し売上増

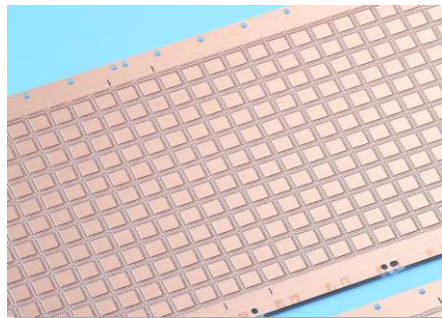


2022年度 第3四半期決算概要（連結）

メタルパッケージ



プレスリードフレーム



エッチングリードフレーム
(QFNタイプ)



セラミック静電チャック



ガラス端子



ヒートスプレッダー

【主な搭載製品例】

自動車、スマートフォン、民生機器、半導体製造装置、通信機器 他

2022年度 第3四半期決算概要（連結）

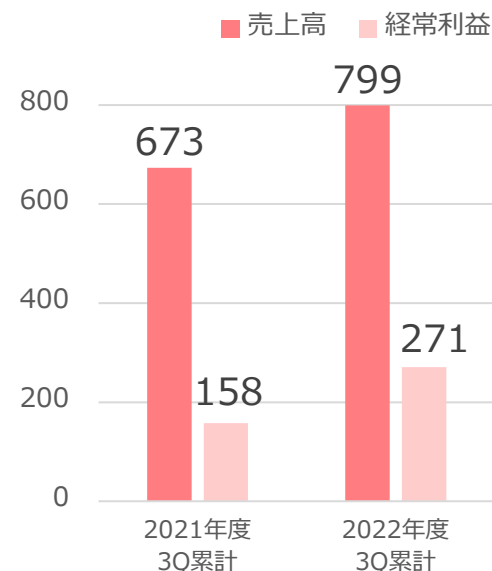
メタルパッケージ

（単位：億円）

	2021年度 3 Q累計	2022年度 3 Q累計	前年同期比	
				増減率
売上高（構成比）	673（34%）	799（34%）	+126	19%
経常利益（利益率）	158（23%）	271（34%）	+113	72%

セラミック静電チャックの需要増加に加え、大幅な円安も寄与したことなどにより、前年同期比増収増益

- セラミック静電チャックは半導体製造装置向けに需要が増加したことに加え、大幅な円安も寄与し、売上が増加
- リードフレームおよびCPU向けヒートスプレッダーは、期後半にかけて、半導体市況減速等の影響を受け需要が減少傾向となったものの、為替相場が円安基調で推移したことなどにより増収
- ガラス端子は光学機器向けが低調に推移し減収



2022年度 第3四半期決算概要（連結）

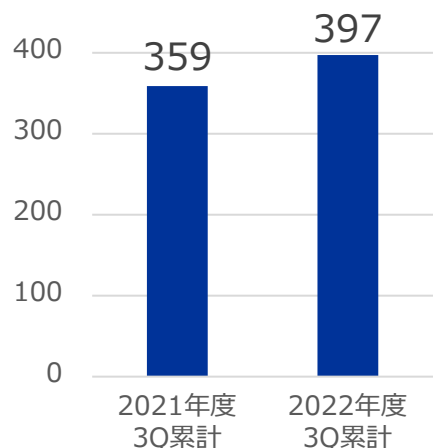
部門別売上高

（単位：億円）

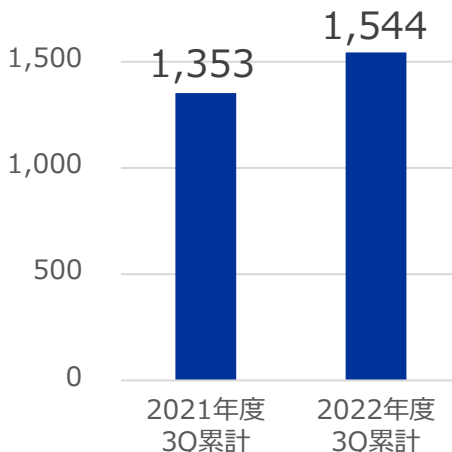
	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	前年同期比		2021年度
			増減	増減率	
ICリードフレーム	359 (18%)	397 (17%)	+38	11%	499 (18%)
ICパッケージ	1,353 (67%)	1,544 (66%)	+191	14%	1,808 (67%)
気密部品	296 (15%)	384 (17%)	+88	30%	412 (15%)

※（ ）は構成比

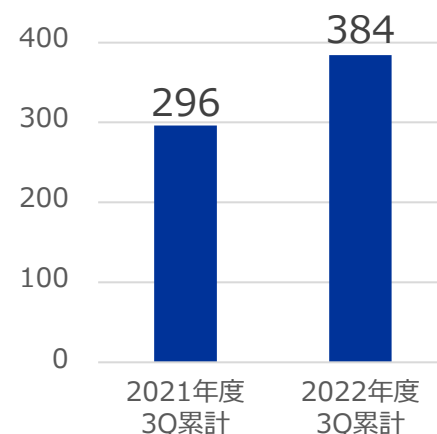
ICリードフレーム部門売上高



ICパッケージ部門売上高



気密部品部門売上高



2022年度 通期の見通し（連結）

売上高・損益・配当

（単位：億円）

	2021年度（実績）			2022年度 （上期実績・下期予想）			前期比（上段：増減金額、下段：増減比率）		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,259	1,460	2,719	1,570	1,650	3,220	311 (25%)	190 (13%)	501 (18%)
営業利益 (営業利益率)	301 (24%)	413 (28%)	714 (26%)	510 (32%)	420 (25%)	930 (29%)	209 (69%)	7 (2%)	216 (30%)
経常利益 (経常利益率)	316 (25%)	443 (30%)	758 (28%)	546 (35%)	424 (26%)	970 (30%)	231 (73%)	△19 (△4%)	212 (28%)
純利益※ (当期純利益率※)	217 (17%)	309 (21%)	526 (19%)	379 (24%)	291 (18%)	670 (21%)	162 (74%)	△18 (△6%)	144 (27%)
為替レート	111円/\$			第3四半期累計期間 実績 135円/\$	第4四半期 想定 125円/\$				

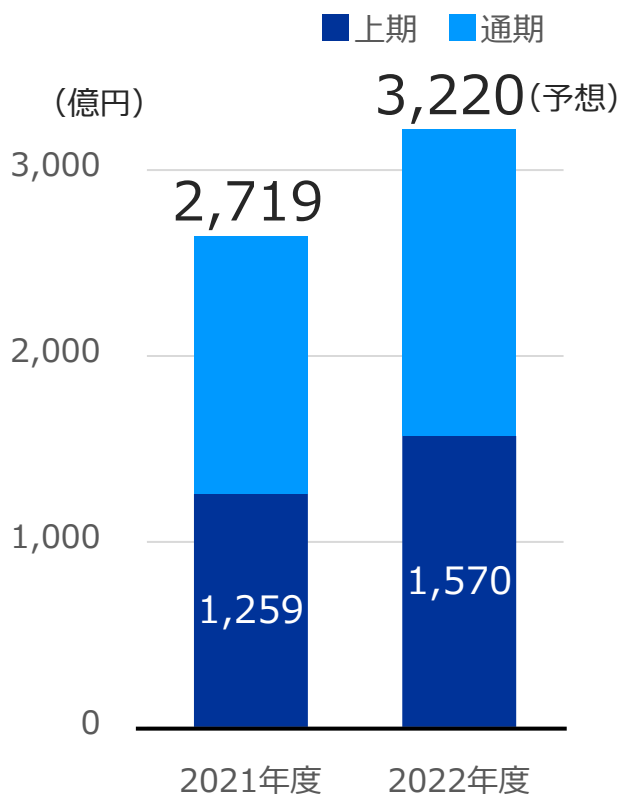
※ 親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：円）

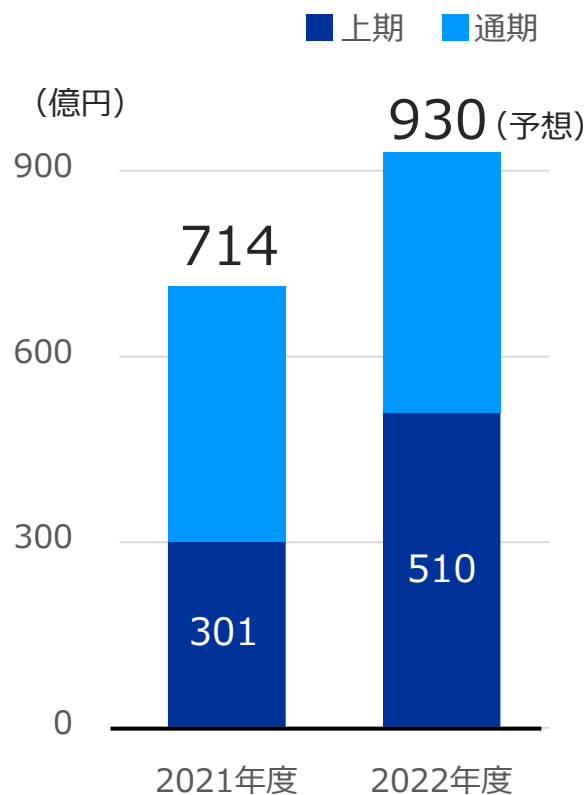
1株当たり配当金 (配当性向)	17.5 [中間]	27.5 [期末]	45.0 (11.6%)	25.0 [中間]	25.0 [期末]	50.0 (10.1%)
--------------------	--------------	--------------	-----------------	--------------	--------------	-----------------

2022年度 通期の見通し（連結）

売上高

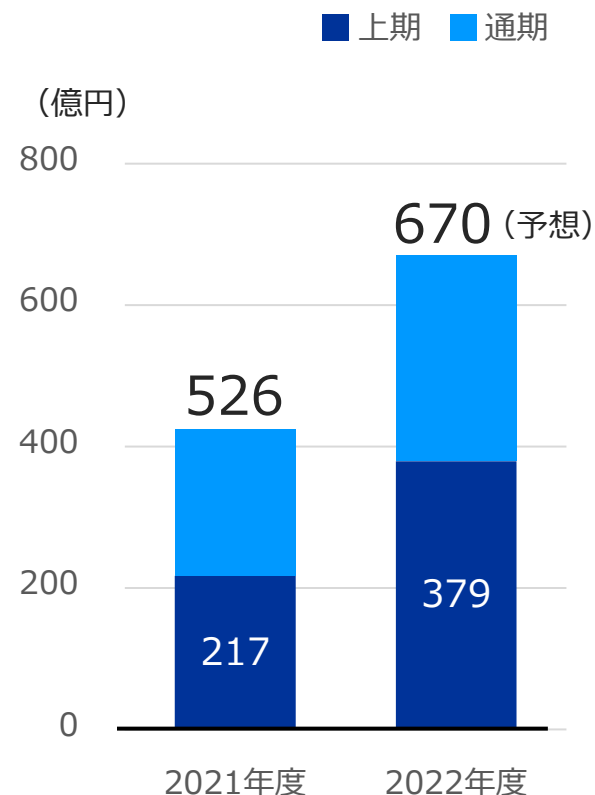


営業利益



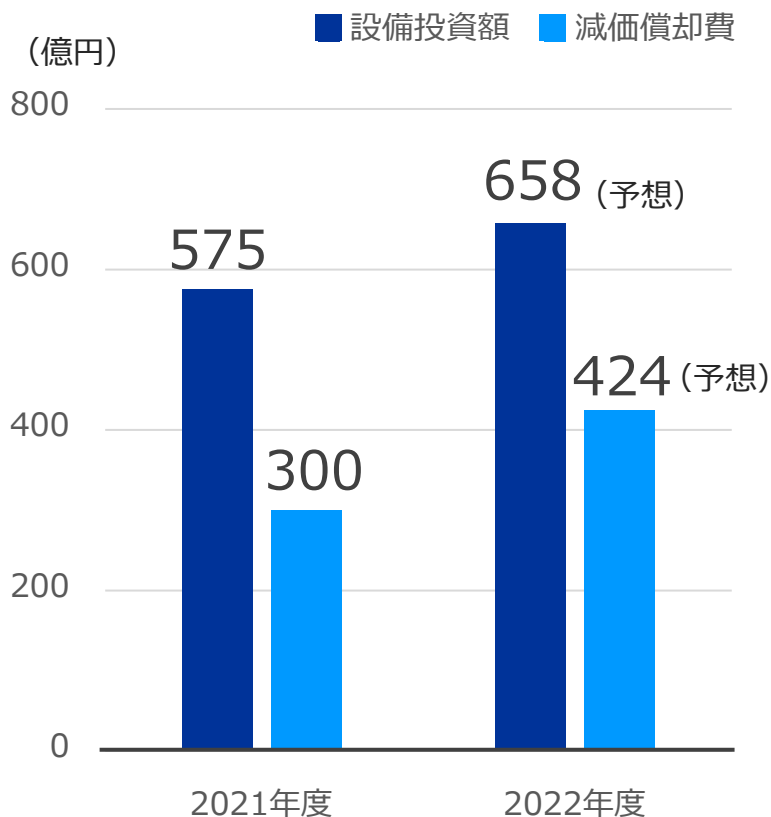
純利益※

※親会社株主に帰属する当期純利益

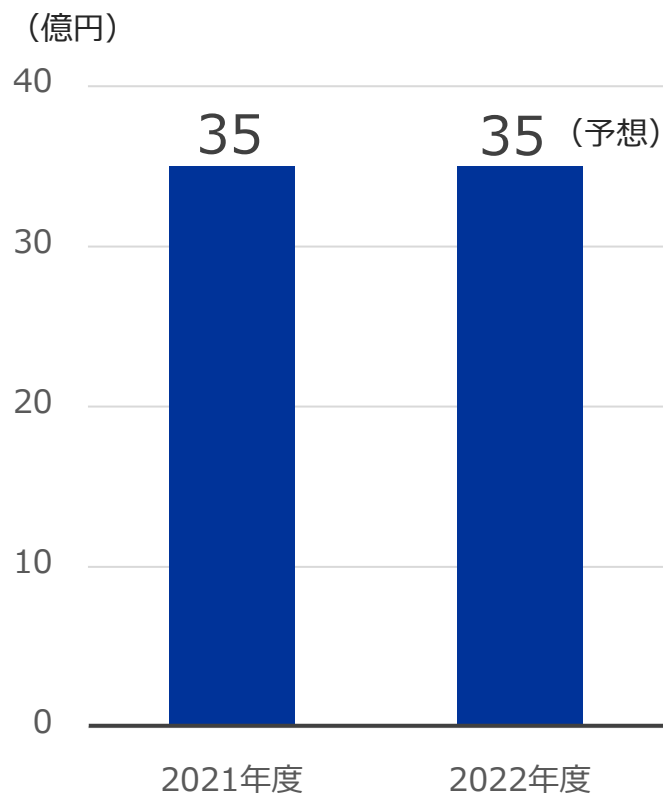


2022年度 通期の見通し（連結）

設備投資額・減価償却費



研究開発費



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づくものであり、将来の予想数値の実現を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位にて表示しております。決算短信等で百万単位で開示しております数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。